

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 17 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 14 日 作成

事務事業名		市町村民所得推計調査事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計 画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名 濱田 善也
	施策	24	行財政改革の推進	所属課	企画財政課	担当者名 中村 奈利
	基本事業	84	広聴・広報機能の充実	所属班	政策企画班	(内線) 1242
				法令根拠	熊本県統計協会会則第4条、市町村民所得推計作成要綱	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	⑫
	1	2	5	2	11053			コスト削減優先度評価結果	⑥
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S47 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
地方行政における地域開発計画、長期経済計画、経済動向予測等の基礎資料を得るため毎年作成されている、市長村民所得推計調査に関する事務、5月～6月にかけて各機関より資料収集、7月に収集データの第1次検討会、11月に第2次検討会、翌年2月に報告書が完成する。
【業務の流れ】
市町村説明会への出席。(5月)・市町村の所得に関する各種資料の収集(5月～7月)・データ検討会、及びその時の疑義に対する回答(7月から随時)・データの最終確認(11月)、公表(2月)
【主な予算費目】負担金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	市町村説明会への出席。(5月)・市町村の所得に関する各種資料の収集(5月～7月)・データ検討会、及びその時の疑義に対する回答(7月から随時)・データの最終確認(11月)、公表(2月)	
市町村説明会への出席。(5月)・市町村の所得に関する各種資料の収集(5月～7月)・データ検討会、及びその時の疑義に対する回答(7月から随時)・データの最終確認(11月)、公表(2月)		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
	ア データ収集のための問合せ件数	件
	イ 県への報告回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
熊本県市町村民所得推計調査	ア 所得推計に必要な各種データの件数	件
	イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
正確に実施される。	ア 確実に収集できなかったデータ数	件
	イ	
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
いつでも行政情報を入手できる	ア 行政情報を入手している市民の割合	%
いつでも行政に意見を言える	イ 行政に意見を言う機会が十分にあると思う市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位								
	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度	
投入量	国庫支出金	千円						総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)	
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	55	42	42	42	42		42
	(A) 事業費計	千円	55	42	42	42	42		42
	うち指定経費	千円							
	うち時間外、特殊勤務手当	千円							
	人件費	千円							
正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
延べ業務時間	時間	120	160	160	240	240	240		
(B)人件費計	千円	476	637	637	955	955	955		
トータルコスト(A)+(B)	千円	531	679	679	997	997	997		
活動指標	ア 件	23	23	23	23	23	23	目 標 合 計 値 画	
	イ 回	2	2	2	2	2	2		
対象指標	ア 件	23	23	23	23	23	23		
	イ								
成果指標	ア 件	0	0	0	0	0	0		
	イ								
上位成果指標	ア %	81.4	80.6	83	80.4	84	85	22 年 度	
	イ %	6.3	8.9	9	10.1	10	10		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
地方行政における地域開発計画、長期経済計画、経済動向予測等の基礎資料を得るため昭和47年度から県、市町村、熊本県統計協会と業務を分担し毎年作成されている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
より実態を明らかにするために算定基礎となる資料を替えるなど推計方法が変わってきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
合志市の一人あたり市町村民所得は県内で2位(平成18年度)と高水準であるなど、今後の動向が気になる。

事務事業名	市町村民所得推計調査事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図「正確に実施される。」ことにより、結果の「いつでも行政情報が入手できる。」「いつでも行政に意見を言える。」に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 地方行政における地域開発計画、長期経済計画、経済動向予測等の基礎資料を得るための調査であり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 現在可能な限り効果的、効率的な手段をとっている。但し、現状の水準を維持するものとする。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 類似の調査が無いいため、県下全域の所得状況の推計が困難になる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似の調査は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 経費は市町村の統計協会への負担金のみであり、負担金の削減について市が主体的に取り組むことは難しいので、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 最小限の人数で、可能な限り効率的な業務を行っている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 熊本県所得推計として一般住民に公開しており公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 現在可能な限り効果的・効率的な手段をとっている。
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 現在可能な限り効果的・効率的な手段をとっている。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)